



砂防堰堤は皆さんの暮らしを守る重要な役割を果たしているのです。

平成17年度 天竜川水系 兎洞沢砂防堰堤工事

工期：平成18年2月15日～平成19年3月20日

施工業者：吉川建設株式会社



工事着手前(3月上旬撮影)
下流側から上流側へ



工事着手前(3月上旬撮影)
上流側から下流側へ



現場代理人の
稲葉清浩です。

監理技術者の
鈴木隆志です。

◎工事概要◎

本工事は、飯田市南信濃本谷地先での砂防堰堤工事です。
工事内容：コンクリートV＝約10000m³ 堤長L＝118.0m 幅＝17.6m
高さH＝23.2m……今回施工分
協力業者名：池端工業(株)、照光電気商会(有)

小嵐稲荷神社・春まつり



小嵐稲荷神社の創建について

天明8年(1788)、京都で大火が起こり東本願寺が焼け落ちました。その再建のための用材集めを発願してきた遠州浜松の齢松寺の僧が、信州遠山にすばらしい木があることを聞きつけ子の地にやってきました。その寛政元年(1789)、険しい山の作業の無事を祈るために、山主である大屋孫治郎という庄屋と協力して京都伏見稲荷から分霊を勧請してきたのが、この小嵐稲荷神社だそうです。

小嵐神社春まつりについて

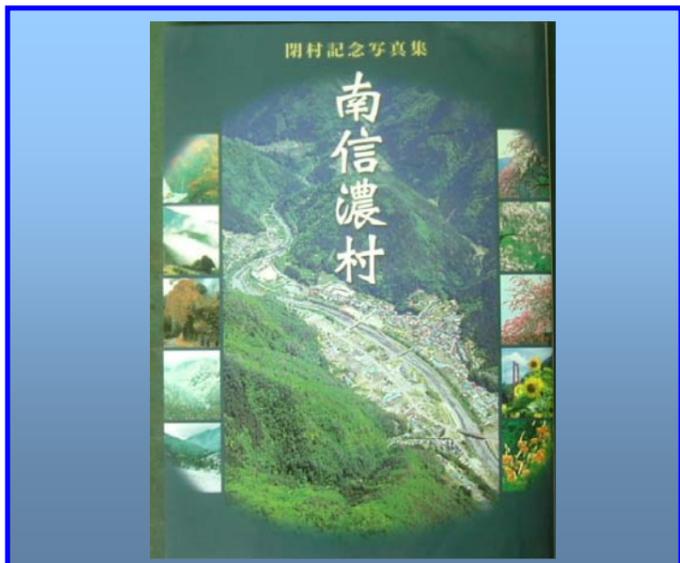
小嵐様の例大祭は春(4月第3日曜日)と夏(7月第3日曜日)です。大祭といっても、よその大きな神社のお祭りとは比べるば、ささやかです。

お祭りは、朝9時頃から始まり、お昼過ぎに終わります。玉串奉奠などの後、「十六神楽」「玉の御神楽」の神楽歌をみんなで歌い、お昼になると持ち寄った御料理を食べて世間話に花を咲かせます。地元の人でなくてもお祭りに参加してみるのがいいですか？地元のおじさんおばさんが声を掛けてくれて、楽しいひとときを過ごせることでしょう。

小嵐神社の場所は？

木沢の集落から西へ、車で10分ほど登った尾根に建つ小さな神社です。左図を参考にして下さい。

閉村記念写真集・南信濃村



南信濃村が平成十七年十月一日飯田市に合併するに際し、これまでの南信濃村の歩みを閉村記念写真集として発行し、旧南信濃村住民一世帯毎、お配りすることになりました。先人が培った村の歴史の一端を村制三十周年事業の記念誌と合わせお読みいただければ幸いです。

飯田市南信濃自治振興センター



総務課の秦野高彦さん

「4月1日付で教育委員会から異動してきました総務係の秦野です。今までとは違った環境で戸惑うことばかりですが、ひょうきんな性格なので、あちこちに出没します。気軽に声をかけて励ましてやって下さい。よろしくお願いします」



保健師の金田夕可さん

「4月から南信濃地区でお世話になることになりました保健師の金田です。まだ、わからないことばかりで皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、地域の健康づくりのために一所懸命頑張りたいとおもいますので よろしくお願ひします」

請負者 吉川建設株式会社
現場代理人 稲葉 清浩
監理技術者 鈴木 隆志